

Journal of The Infosociomics Society

Foreword

VOLUME7 No1,2012

はじめに

情報社会学会会員の皆様

『情報社会学会誌』第7巻第1号をお届けいたします。
本号は、査読審査を経た原著論文2本と研究ノート2本を掲載いたしました。
論文は、いずれも時期にかなった興味深いテーマが取り上げられました。

原著論文「複数地域間の地域情報化を促進するプラットフォームに関する一考察—インターネット市民塾活動における地域間協働の取組から—」は、本論文で扱っている地域情報化活動を促進するための方法論は、今後の情報社会にとって有意義な内容で今後の研究、活動が期待できます。

原著論文「Inferring Leadership of Online Development Community using Topological Structure of its Social Network」は、社会空間としてのインターネット利用集団として形成された Community におけるリーダーシップの強度に焦点をおき、LSI という概念を提示して追究しています。Community モデルとしては開発型 Online Community に焦点をおき、LSI 手法を実証的に調査分析し、その有用性を提案しています。今後の研究に期待をします。

研究ノート「ハックティヴィズムとスラックティヴィズムの概念的差異に関する考察:アノニマスを事例に」は、従来の間接民主主義に対比される直接民主主義、いわば、インターネット民主主義のひとつの形態ともいべきハックティヴィズムについて、その概念をサイバーテロリズム、サイバーアクティヴィズムの類似概念と比較論考して概念定義を導き出し構成しているもので、今後のさらなる研究に期待をします。

研究ノート「Q&A サイトで複数のアカウントを不適切に用いるユーザの調査:アカウントの使い分けについて」は、インターネットの Q&A サイトを対象として、複数のアカウントを不適切に利用するユーザの使い分けの状況について分析したものです。その結果、1人のユーザが繰り返し投稿し、自分の意見を正当化しようとするためにアカウントを使い分けている可能性のあることを明らかにしています。情報社会において、匿名性の影響については論を待たないため、本研究の情報社会学に対する貢献は大きいと考えます。今後のさらなる研究に期待をします。

会員の皆様からの積極的な論文の投稿をお願いいたします。

2012年5月26日

情報社会学会編集委員会
委員長 大橋 正和